

平成24年度（第35回） 「若手技術者セミナー」報告

技術委員会 佐藤 春夫

平成24年度「若手技術者セミナー」は今年度で35回目を迎えました。今回は、昨年の東日本大震災で宅地被害を受けた折立団地における現地研修および「技術の伝承」を主題とした「若手技術者セミナー」を行いました。

研修場所は、仙台市の協力により、「昨年の東日本大震災で宅地被害を受けた折立団地における現地研修」を選定し、恒例となりました若手技術者のディスカッション・親睦の集いを行いました。

1. セミナーの主題・目的

仙台市折立団地被災現場を現地見学、観察し、地形・地質・調査内容等の概要や設計方法について研修を行いました。

宅地災害の被災状況と変位範囲を確認し、調査手法や対策工法の概要を見聞することで、若手技術者の技術力向上を目的としました。また、実際の変状、家屋の被災状況を見学したことにより、今後の調査現場で、今回研修を行った体験が役に立つものと期待します。



ディスカッションでは現在地質調査業に携わっている若手技術者の率直な意見・要望・疑問点を聞く機会をもって、技術者相互の向上と今後の協会活動の参考にすることを目的としました。また、地質調査業界では、技術者の高齢化に伴い「ベテラン技術者」が培ってきた技術やノウハウの伝承が問題となっており、技術の伝承についても主題としました。今回は、協会より技術士が多く参加し、若手に対しての技術の伝承を行えたと思っています。

2. 実施行程・内容

- 場所：宮城県仙台市内
「仙台市折立団地被災現場」
- セミナーの内容
一日目

- 現地研修会
仙台市折立団地
宅地災害現場の見学
- 意見交換会
二日目

- 「秋保温泉」にて
- 鶴原委員からの話題提供(宅地被害状況)
- ディスカッション
- 全体のまとめ



3. 研修内容（1日目）

「現地研修会」

以下に実施した研修の内容を簡単に記述します。

集合場所を出発し仙台市折立団地被災現場を見学しました。休校している折立小学校前（崩壊地末端部）で被災状況の概要と調査方法、結果の説明を受けました。

調査結果に対して活発な質問や意見交換が現地で交わされました。その後、参加者全員で、縦約200m、横約150mの崩壊地を見学しました。末端側方部から変状状況を見学し、頭部滑落崖を確認し、各参加者は、変状の大きさに驚いておりました。崩壊地中央部、側方部、末端部と崩壊地内の道路上からくまなく見学を行った。地形勾配がかなり急峻であり中堅以上の技術者には、かなり良い運動になったかと思えます。

崩壊地内には、地域住民が生活しており、住民への挨拶や民地への立ち入り制限があり、参加者は、住民に対する拝領が感じ取られ、参加者には貴重な経験となりました。

今後の業務の参考になったのではないかと思います。

現場研修全体での活発な質疑応答があり、技術力の向上に寄与したものと思っています。

以下に研修の状況を写真で報告します。



「意見交流会」

参加者は、“仙台市折立団地被災現場”の見学を終えた後、「秋保グランドホテル：秋保温泉」に戻り食事を兼ねた『意見交流会』に参加しました。

本年度は、例年よりも若干参加者数が少なかったことから、どのような『意見交流会』になるのか不安でしたが、“新田委員長の挨拶”を号令として、例年通りの活発な交流会となりました。



隣室での“延長線”にも全員が参加し、“仕事の話”“会社の話”“プライベートな話”等々で盛り上がりが見られました。除々に日常

の疲れが出始めた人から脱落しましたが、一部では“地質調査業の今後”に関する話題等で熱い議論となり、噂では日付を跨いでいたとのことでした。

普段は接する機会が少ない他社技術者と本音で話げできた有意義な時間であったと思われ、この光景をみると『若手セミナーの意見交流会』の意義を感じ、次年度以降も継続すべきイベントであることを再認識しました。

4. グループディスカッション (2日目)

(1) 第1班 (報告 小原委員)

グループ1は土質試験や現場管理を専門とする若手技術者と技術営業マン、さらに東北地質業界の重臣(比留間さん)に参加していただき、非常に多岐にわたる話題で盛り上がりしました。



技術面での質問に関しては、比留間さんより根幹に関わる解答や最新技術まで教えて頂き、新田技術委員長からは標準貫入試験機器の新しい呼び方など、改めて国際規格に関する諸問題や今後の地質調査業のあり方などを伝授して頂きました。

専門技術者と技術営業マンの共通の話題として、単価の安い調査、発注者が中々認めてくれない調査費などを議論しました。海上ボーリングや物理探査、ラムサウンディング、運搬仮設費(モノレール仮設・人肩)などです。特に多大な設備を必要とし、危険作業を伴う海上ボーリング調査の受託に関しては、慎重になる必要がある点で技術者と営業マンの意

見が一致しました。

今回のグループは、仕事を取る人と消化する人の組み合わせだったため、双方の仕事の大変さは理解できましたが、共通の話題を掘り下げて議論することは少なかつたように思います。

次回は、前日の懇親会でグループ分けとプチミーティング(本音トーク)を行い、二日目のグループディスカッションには話題を絞って望みたいと考えています。

(1) 第2班 (報告 山田委員)

グループ2は桃井座長のもと、大きく2つのテーマについて議論を交わしました。メンバーは、ボーリング掘進技術者、設計技術者、技術営業、土質試験技術者等、分野が多岐にわたるメンバーで構成され、このようなメンバーで一つの話題について議論を交わすことができるのは「若手セミナー」の特権なのかもしれません。



まず、ひとつ目のテーマは、セミナー参加者が常日頃疑問に感じていることを各人が発表し、グループ2の皆さんでその疑問点について思い思いの意見を交換しました。やはり、皆さんが常日頃から気になっていることは、基準や本などでも分かりにくいところや経験を要する部分がほとんどであり、そういった話題について意見交換されることは大変有意義なことでありますし、また非常に頼もしく感じられました。

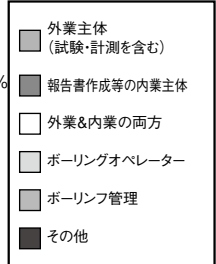
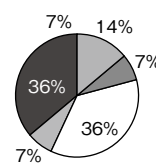
二つ目のテーマは、前日に視察を行った折立団地の被災地についての感想、現状と対策、並びに今後地質調査技術者に求められること等について、意見を交換しました。このなかで、被災地を視察した時に感じることはみなさんそれぞれ違うところがあったり、共感する場面もあつたりして、技術者として他の人が感じている思いを知ること非常に大切なことなのだと、私自身も改めて感じました。

今回参加された技術者の皆様が、セミナーでの討議・出会いを活かし、今後の技術向上と今後の更なる発展をお祈りしております。

5. アンケート集計

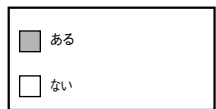
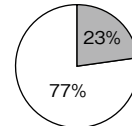
1. あなたは、主にどのような業務に従事していますか？	
	回答数
・外業主体(試験・計測を含む)	2
・報告書作成等の内業主体	1
・外業&内業の両方	5
・ボーリングオペレーター	0
・ボーリング管理	1
・その他	5
・その他	
橋梁設計・橋梁点検従事者:1名、技術営業:4名	

1. あなたは、主にどのような業務に従事していますか？



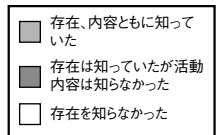
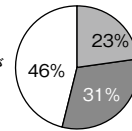
2. あなたは過去の「若手技術者セミナー」に参加したことはありますか？	
	回答数
・ある	3
・ない	10

2. あなたは過去の「若手技術者セミナー」に参加したことはありますか？



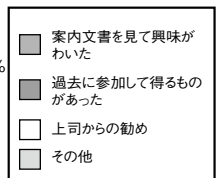
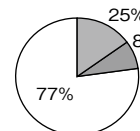
3. あなたは、東北地質調査業協会が主催する「若手技術者セミナー」の存在を知っていましたか？	
	回答数
・存在、内容ともに知っていた	3
・存在は知っていたが活動内容は知らなかった	4
・存在を知らなかった	6

3. あなたは、東北地質調査業協会が主催する「若手技術者セミナー」の存在を知っていましたか？



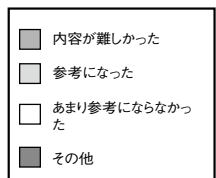
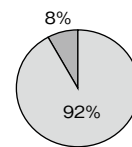
4. あなたは、今回なぜ「若手技術者セミナー」に参加しましたか？	
	回答数
・案内文書を見て興味をわいた	2
・過去に参加して得るものがあった	1
・上司からの勧め	10
・その他	0
・その他主な意見	

4. あなたは、今回なぜ「若手技術者セミナー」に参加しましたか？



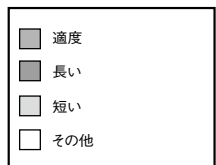
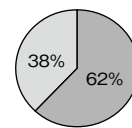
5. 第一日目の「現地見学会」について	
(1) 内容について	
	回答数
・内容が難しかった	1
・参考になった	10
・あまり参考にならなかった	1
・その他	0
・その他主な意見	
・等業務に携わっていたことから参考程度であった。	

5. 第一日目の「現地見学会」について (1) 内容について



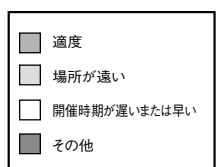
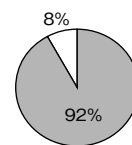
(2) 現地見学の時間について	
	回答数
・適度	8
・長い	0
・短い	5
・その他	0
・その他主な意見	

5. (2) 現地見学の時間について



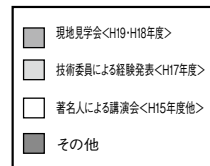
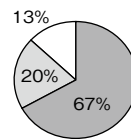
(3) 場所および開催時期について	
	回答数
・適度	12
・場所が遠い	0
・開催時期が遅いまたは早い	1
・その他	0
・その他主な意見	

5. (3) 場所および開催時期について



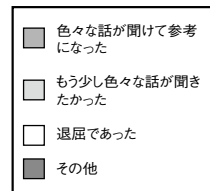
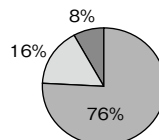
(4)実施形態について【複数回答あり】	回答数
・現地見学会<H23~H18年度>	10
・技術委員による経験発表<H17年度>	3
・著名人による講演会<H15年度他>	2
・その他	0
・その他主な意見	
・学識経験者の方も入ると、又違った面でも有意義な会になると思います。	

5. (4)実施形態について



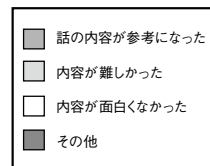
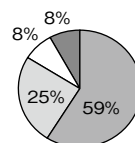
6.第1日目の「意見交流会」について	
	回答数
・色々な話が聞けて参考になった	10
・もう少し色々な話が聞きたかった	2
・退屈であった	0
・その他	1
・その他主な意見	
・交流を深めることができたし、地質調査以外の業務の方の話も聞けて良かった。	

6. 第1日目の「意見交流会」について



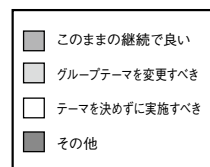
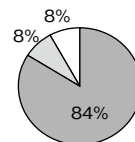
7.第2日目の「グループディスカッション」について	
(1)内容について	回答数
・話の内容が参考になった	7
・内容が難しかった	3
・内容が面白くなかった	1
・その他	1
・その他主な意見	
・実際自分が携わったことのない話題に関しては理解できない話もあったが、色々な話が聞けて良かった。	

7. 第2日目の「グループディスカッション」について



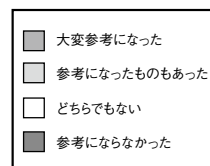
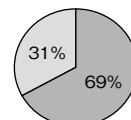
(2)「グループディスカッション」についてどのように考えますか	回答数
・このままの継続が良い	11
・グループテーマを変更すべき	1
・テーマを決めずに実施すべき	1
・その他	0
・その他主な意見	

7. (2)「グループディスカッション」についてどのように考えますか



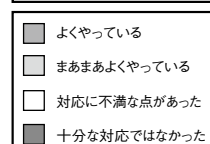
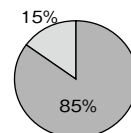
8.この「若手技術者セミナー」について	
(1)今回のセミナーの印象はいかがでしたか?	回答数
・大変参考になった	9
・参考になったものもあった	4
・どちらでもない	0
・参考にならなかった	0

8. この「若手技術者セミナー」について



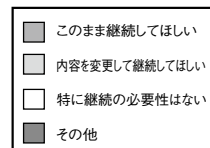
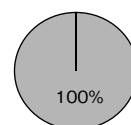
(2)協会委員の対応はいかがでしたか?	回答数
・よくやっている	11
・まあまあよくやっている	2
・対応に不満点があった	0
・十分な対応ではなかった	0

8. (2)協会委員の対応はいかがでしたか?



(3)今後(次年度以降)について	回答数
・このまま継続してほしい	13
・内容を変更して継続してほしい	0
・特に継続の必要性はない	0
・その他	0
・その他主な意見	

8. (3)今後(次年度以降)について

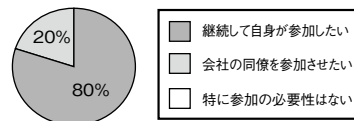


(4)本年度は『仙台市折立団地被災現場』を対象とした現地研修を実施しましたが、どのような印象を受けましたか？

・非常に参考になった。
 ・実際に写真や資料で見るより被害が大きく感じられ、衝撃をうけるとともに、我々がやるべきことについて考えさせられた。
 ・自分の家が被災を受けたと思うとゾッとします。やはり被災を受けるであろう地区をしっかり選定し、情報提供することが大切だと思いました。
 ・思っていたより変状が大きく興味を持って現場を見た。
 ・被災地を見学するのは、あまり気が進まない。
 ・津波の被災現場は多く見てきたが、地震の被災現場を見たのは初めてで、印象的であった。盛土に住むのは怖いと思った。
 ・生々しかった。
 ・やはり、被災はひどいとの印象。対策後も状況を見てみたい。
 ・改めて被害の大きさを認識した。対策工の選定は非常に勉強になった。
 ・被災した団地の中を歩いたのは初めてで、そこに住んでいる方は、大変だと思いました。
 ・資料をもとに、現地を見学できて、とても参考になった。
 ・会社で宅地関連の仕事をしている方も沢山いて、丁度、他の現場を拝見させて頂いた事があったが、宅地ごとで規模、原因が異なることが良くわかった。そのため、地質業の重要性を認識できた。

(5) 次年度以降の参加について	回答数
・継続して自身が参加したい	2
・会社の同僚を参加させたい	8
・特に参加の意義を感じない	0
・その他	0
・その他主な意見	

8. (5) 次年度以降の参加について



9. この『若手技術者セミナー』全般に関する意見など

- ・もっと上手に座長ができればよかったですが、すみません。鶴原さんにフォロー頂きありがとうございました。
- ・アンケートの記入欄が小さく、文章が書きにくい。
- ・いい骨休めになりました。山形(東北めぐり)でもやればと……。
- ・他の業種の方と、関わりあえて良かったです。
- ・他者との交流の場がもてて、とても楽しい会でした。

以上ご協力ありがとうございました。

6. おわりに

今年度の研修テーマは、仙台市折立団地被災現場での現地研修および「技術の伝承」を目的として、近年にない活発な研修であったと思います。

アンケート結果からも有意義な技術の伝承があり、良い研修であったと思います。また、アンケートの内容・意見については今後の協会活動の参考とさせていただきます。

今回は、震災後で各社ともに業務多忙の時期での開催でありながら、例年通りの参加人数ではなかったかと思います。この若手セミナーは回を重ねて参加することで、技術力が向上し人脈も構築されると

思っており、会員各社の方々にはこの点をご理解の上、若手社員をこのセミナーに今後とも参加させて頂きたく紙面を借りてお願い致します。

